

提携先の北九州市 DXアワード受賞

入居者がITアドバイザーに

CEspace



CEspace
(東京都港区)
若泉大輔社長(38)

で大賞を受賞したことを発表した。

同アワードは、先進的なDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みを行う全国の自治体を表彰し、取り組みを周知する目的で開催された。

IT人材専用シェアハウス「TECH RES IDENCE（テックレジデンス）」を運営するCEspace（シーイースペース）は4月19日、提携先の北九州市が「第1回 日経自治体DXアワード」

企業のIT課題に対し、TECH RES IDENCEの入居者がアドバイザーとして相談に乗る。

21年11月からは北九州市の職員向け相談会も毎月開催。デジタル化やDXに課題のある部門、業務の相談を受けている。実際のシステム開発は地元企業に依頼することで仕事の創出にもつなが

る。21年は新型コロナウイルス対策のため自粛したが、相談対応のため現地訪問も行い、北九州市に関わる人の創出にも寄与している。これまでにアドバイザーを務めたのは入居者のうち6人。

同社は、今後も連携する自治体を拡大していく予定だ。そのほか、金融機関との連携も計画している。若泉大輔社長は、「今後もDX相談の案件を増やし、入居者満足度を高める」と述べた。

北九州市
TECHアドバイザー



若泉 大輔

▲北九州市が認定した入居者に発行している「北九州市TECHアドバイザー」の名刺(CEspace)